

つ 津みらい

さとう ゆうき
佐藤 有毅

録画映像



問 安心して出産できる産後ケアサービスの充実を

誰もが安心して出産し、不安なく子育てができるよう、行政が手厚く支援することは大切である。

産後ケアサービスについて、今回、医療機関や助産所における宿泊型サービスが拡充されることであるが、どのようなサービスを受けられるようになるのか。

また、利用日数が7日までと制限されているが、日数を増やす考えは。

答 まずは宿泊型サービスを拡充し、日数については検討していく

今回の宿泊型サービスの拡充により、市役所の窓口業務時間内だけでなく、看護師や助産師の専門職が対応する産科医療機関の専用電話にかけることで、夜間や休日にもサービスの利用について相談できるようになる。また、生後4か月以降の子どもについては、これまで一部の助産所のみでの受け入れとなっていたが、医療機関での利用も可能となることに加え、未就園の兄弟も一緒に利用できるようになる。利用日数については、国のガイドラインに沿って7日以内としており、4日以内の利用が多いが、利用者数や受け入れ体制の状況を見ながら検討していく。

その他の質疑・質問

- 議案第39号 令和8年度津市一般会計予算
- 公共施設予約システム更新事業について
- コミュニティバス運行等事業について
- 施政方針より、「こどもの未来」について
- 教育方針より、「子どもたちが安全で快適に学ぶための施設整備」について
- 一級河川雲出川水系の河川整備について

▶ 令和7年度の国の補正予算により、雲出川中流域の河道掘削・堤防整備の事業が進められた



つし そうせい
津市創成

こばやし たかとら
小林 貴虎

録画映像



問 継続して成長する津駅にするために、市と民間の責務を明確に

新しい津駅はPFI法に基づいて運営され、事業を受託したSPCが得る収益事業の利益を原資に、サービス・施設の継続的な改善により更に利用者を増やし、事業を拡大していくことが望まれる。民間の事業拡大が市の目的とする賑わい創出であることを要求水準書に明記し、官民の目的が将来乖離しないよう定めることが、市民の利益を守る市の責務であると考えているが、いかがか。

答 民間活力を最大限に引き出せるよう事業者と対話していく

津駅前の上部空間の活用に関し、民間事業者のアイデアや経営ノウハウを生かして利用者を増やし、収益を確保し、サービスの質を高めるという視点は不可欠だと認識している。また、収益環境の変化などがサービス水準の低下を招かないよう適切な歯止めや改善のプロセスを組み込んでおくことも重要だと考える。民間事業者を募集することとなった際は、事業の魅力や柔軟な発想、参入意欲を損なうことなく、民間活力を最大限に引き出し、サービスの質と事業の持続可能性を両立させるよう、公募に向けた条件整理の段階から民間事業者との対話を継続的に行っていく。

その他の質疑・質問

- 津なぎさまち管理運営事業について
- 15往復30便および片道45分航路の確保について
- 高速船利用者増と観光施策の実施について
- カトリア引退時の費用確保について
- 転入者増を目的とした事業の拡充について
- これまでの取り組み状況と今後の対策について

▶ 津駅東口の将来イメージ図

